



安曇野日和

連載コラム 院長室だより 病院長 桑村 智

2018年4月に介護医療院という病院内施設の基準が定められました。これは慢性期医療を担う医療機関において、通常の医療保険ではなく介護保険にて医療費を算定する介護療養病床を撤廃する取り組みの打開策として提案されたものです。周知のとおり少子高齢化が医療費拡大を招いている我が国では、本来日常生活の支えとなるべき介護保険の財源まで侵食しているのが現実です。

介護保険が制定されて間もなく、医療機関においても介護必要度が高い患者さんを受け入れている病棟においては介護保険を導入しておりました。治療費の中にオムツ代など日常生活に関わる部分が含まれており、これはこれで現場の需要に合ったサービスでありました。しかしこのままでは近い将来に介護領域の財源を圧迫することが明らかとなり、平成18年には6年後に介護療養病床を廃止して医療保険の療養病床もしくは老人保健施設などに転換することが決定したのです。医療法改正により療養病床が創設されてから5年後のことですから、早い判断であったと思われます。にもかかわらず病床転換には種々の条件があり、実際には一向に進みませんでした。平成23年度末に6年延期、果たして平成29年度末にさらに6年延期となりました。

私個人としては、もう廃止する気がないのではないかと感じておりましたが、昨年春に介護医療院が登場したことにより、いよいよ本腰を入れて廃止に向かう流れになったと判断しました。こうなると時間が進むにつれて病床転換の条件が厳しくなるのが世の常なので、当院の認知症疾患療養病床を新年度より医療療養病床に転換することにしました。現場ではサービス提供の仕組みが変わることで、様々なことに対応しなければならず、負担の増加は避けられません。しかし長い目で見れば良好な病院運営に欠かせない取り組みとなりますので、皆で力を合わせて何とか乗り越えていきたいと思います。

表紙写真

写真タイトル：「 春の北アルプスと大糸線（E127系） 」 撮影者： 樋口 孝

12月 病院行事



クリスマスコンサート

平成30年12月15日（土）に院内の体育館でクリスマスコンサートが開催されました。松本市民吹奏楽団のみなさんにお見えいただき、1時間ほどの演奏と楽器の紹介をしていただきました。

松本市民吹奏楽団のみなさんの小倉病院での訪問演奏は3回目となり、多くの患者さんがクリスマスコンサートの開催を楽しみにしていました。

2部構成のコンサートで、1部は童謡メドレーやヤングマンなどの、患者さんに聞き馴染みのある曲を、2部はウィンター・ワンダー・ランドや恋人がサンタクロースなどのクリスマスソングを演奏していただきました。

患者さんの知っている曲をたくさん演奏していただき、近くで演奏されるため迫力もあり、聴きごたえがありました。途中に、楽器の紹介コーナーもあり、楽器ごとに個別の音を聞くことができ、とても好評でした。



参加した患者さんの多くは、手拍子をしたり、口ずさんだりして演奏を楽しんでいました。松本市民吹奏楽団のみなさんありがとうございました。



忘年会 + 作品展示

平成30年12月19日（水）に忘年会と作品展示が院内の体育館にて行われました。

忘年会は、職員による合唱やダンスのステージ発表と、病棟ごとの患者さんによる紙芝居などのステージ発表が行われました。

作品展示は、体育館内のステージとは反対側の壁面に、作業療法で作成したジグソーパズルや手さげ袋や帽子などの手芸作品、習字の作品などを展示し、自由に鑑賞しました。



1月 病棟レク

平成31年1月は全病棟において、書初め・カラオケ大会・おやつのおしるこなど、新春レクが行われました。

2-2病棟では、午前中に書初めを、午後にはカラオケ大会を行い、終日新春レクを楽しみました。

午後、病棟のホールで行ったカラオケ大会は3時間！もありましたが、患者さんは得意な歌を何曲もリクエストして楽しんでいました。途中で、診療中の院長も飛び入り参加し、歌声を披露していました。



おやつの時間にふるまわれたおしるこは、お餅の代わりにワンタンを使用し、食べ応えがありながらもみなさんが安全に食べられるおやつでした。



2-3病棟では、カラオケ大会が行われました。精密採点機能を使用したカラオケ大会を行い、高得点を出した上位3位までの患者さんに賞状を渡しました。患者さんは点数がつくことで盛り上がっていました。

カラオケの後、おしるこ抹茶ババロアのおやつを食べ「おいしい」「来年も食べたい」などの感想が聞かれました。

2月・3月 病棟レク

平成31年2月20日（水）に1-3病棟の病棟レクで、じゃんけん大会が行われました。



患者さんが2つのチームに分かれて、チーム戦でじゃんけんを行い、物送りや陣取り合戦といった対抗戦を行いました。どちらのゲームもとても盛り上がり、楽しいひと時を過ごすことができました。

平成31年3月13日（水）に2-3病棟の外出レクで、開運堂あづみの菓遊庭へ出かけました。まず、お菓子作りの工場を見学し、和菓子やロールケーキを作っている様子を見学しました。

その後喫茶コーナーへ移動し、メニューの中から好きなケーキや和菓子と飲み物のセットを選んで食べました。患者さんは、院外への外出でリフレッシュできたようで、楽しい時間を過ごすことができました。



城西医療懇話会

城西医療財団では、医療懇話会という各施設から演題を発表する研修会（勉強会）を年に3回開催しています。統一のテーマや自由テーマ等で発表を行い、情報交換を行っています。



平成31年2月9日（土）に、第81回城西医療懇話会が城西病院で開催され、当院からは、介護療養病棟の職員が、排泄ケアの業務改善報告について発表を行いました。小倉ホームの職員も、グループホームの入所者さんが入院し、再びグループホームへ退院して生活を送れるように行った支援について発表を行いました。

第53回長野県精神科病院協会研修会

平成31年2月23日（土）に安曇野スイス村サンモリッツにおいて、第53回長野県精神科病院協会職員研修会が開催されました。県内各地の精神科病院から参加者が集まり、当院からは4名の職員が参加し、作業療法士が「精神科長期入院患者の退院に向けた支援～デマンド交通の利用を通して～」という題で発表を行いました。

長期間の入院により、退院への意欲が低下している患者さんに対して、退院促進の第一歩として、院外の生活へ目を向けたり、院内での療養生活の中でも楽しみや目標を見つけ意欲を持って生活ができるようにプログラムを実施しました。

安曇野市のデマンド交通「あづみん」を利用した外出訓練を行い、患者さん単独で図書館やスーパーへ外出ができるようになりました。患者さんは、活動の幅が広がり自信がついたようでした。今後も様々な成功体験を繰り返して退院への意欲へと繋げていきたいです。



病院の理念

慢性期の患者さま一人一人の病状・置かれている状況を個別的に考え人格を尊重し、全職員が職種を超えてチームを組んで一体的に治療目標が達成できるように最良のサービスを提供する。

病院の基本方針

1. 医療安全・サービスの質の向上
2. 地域への貢献
3. 職場の環境づくり
4. 地域連携
5. 経営の健全化

精神科療養病棟150床・老人性認知症疾患療養病棟50床

患者さまの権利

患者さまは、人間として尊重され差別されることなく、公平で良質な医療を受ける権利があります。そのため私達は治療を始める際には、診療についての情報をご本人に説明しご理解いただいた上で患者さまのプライバシーを守り、意思を尊重し継続性のある医療を提供します。

〒399-8103

長野県安曇野市三郷小倉6086-2

TEL 0263-76-5500(代) FAX 0263-76-5501

社会医療法人 城西医療財団

ミサトピア小倉病院

編集後記

もうすぐ平成の時代が終わります。30年前は、崩御によって元号が急に変わったため、昭和を平成に書き換えるためのゴム印を数多く押した事が思い出されます。今回は、前もって変わることが分っており、1ヶ月の猶予がある事、IT化が進んでいる事もあり、少しは余裕があるかと思います。

平成元年には携帯電話すらなかった時代でしたが、今やスマホ時代となり、生活に無くてはならない物になっています。この先、30年後はどんな時代になっているのか？予測が付きません。樋口 孝